

**第一段****教科書及び漢字****(イ)唱方**

数の唱方を練習する 10, 20 …… 100, 11, 12 …… 99 の順唱。11-1 …… 99-9 の口問口答飛び飛びでよい。

**(ロ)漢字書方**

20までの数を漢字にて表はすことの復習をする。次に30は、40は、等と口問しつゝ児童自ら発見する様に導きて100に至る。

次に十、二十、……百までの練習(一回も書かせたらそれでよい、机間巡視をして批正する様にしたい)。次に21は、22は等と口問しつゝ児童をして発見せしめる。

次に五十一から六十までの練習をさせる。

**(ハ)讀方練習**

教師が漢字にて板書し、それを讀ませる。

口問筆答 教師が数を口唱して漢字にて書かしめる。

板書筆答 數字にて與へて漢字にて表はさしめる。

三  
月  
上  
旬

(教・六十三頁)

**第二段 練習表による練習。****(4)注意**

- 漢字にて數を表はすことについては已に20以下は心得て居るのであるから、その復習をした其上は児童自らをして発見させたらそれでよい。十位數と一位數との複合の場合を一々取扱ふ必要は勿論ない。50から60まで、80から90までなど飛び々に練習させたらそれで十分である。其他數問教師の口問によりて漢字にて筆答させ其正否を検すれば理解の如何は容易に察知することが出来よう。
- 漢字の書方を態と此處へ廻したのは從來の教材を取扱ふ上に不便も必要も感じなかつたためである。
- 六十三、六十四頁の材料は前にも云つた通り唱方練習を目的とする教材であるから其積りで取扱ひたい。問題の如きは一つ一つ行ふ要のないことは云ふまでもない。とびとびに口問口答したらそれでよい。

**第八時**

- 教材 六十三頁。續終まで。

三  
月  
上  
旬

(教・六十三頁)



三月上旬

(2)準備 練習表。

(3)教順並に注意

第一段

(イ)數の順唱。

(ロ)漢字にて數を表はすことの復習。

口問して凡そ20程も書かせたらそれでよい。

第二段

教科書 本時間の配當教材。

(イ)1+10, 20 等。

(ロ)11, 12-10 等。

(ハ)數の順唱逆唱。

(イ)(ロ)の如きは一々取扱ふ要のないことは前時間の注意の處に述べた通りである。

(ハ)についても逆唱の如きはとびとびでよい。

100 から 99, 98 から 90 まで, 70 から 69, 68 から 60 までの如くに。

唯、19, 29……99+1 20, 30, 40……100-1 については幾分注意して多く取扱ひたい。

第三段

練習表

第四段

(教・六十三頁)

三月上旬

混交練習

$(一)^{(B)}$		$(二)^{(F)}$		$(三)^{(B)}$	
$2+5$	$8+11$	$9-6$	$13-11$	$8 \times 2$	$4 \div 2$
$50+20$	$8+60$	$90+60$	$38-30$	$30 \times 3$	$6+2$
$19+1$	$5+7$	$13-3$	$18-9$	$16=8 \times \triangle$	
$60+8$	$12=5+\triangle$	$93-3$		$40=20 \times \triangle$	

第九時

(1)教材 六十四頁。全部。

(2)準備 練習表。

(3)教順

第一段 練習表。

第二段

教科書

口問しつゝ漢字にて筆答させる。

第三段

混交練習

$(一)^{(E)}$		$(二)^{(A)}$		$(三)^{(B)}$	
$8-4$	$12-12$	$9 \times 2$	$60=30 \times \triangle$	$5+4$	$9+11$
$80-40$	$79-70$	$10 \times 4$	$80 \div 2$	$50+30$	$40+10$
$12-1$	$12-8$	$2 \times 4$	$10 \div 2$	$11+8$	$7+6$
$99-9$		$18=9 \times \triangle$		$10+10$	$13=6+\triangle$

(教・六十四頁)



三月上旬

第四段

1. 菜の花が咲いてゐます。白いのが8本黄色のが6本あります。皆で何本ですか。
2. 向ふの畠にも菜の花が咲いてゐます。黄色のが30本、白いのはそれよりも10本多く咲いてゐます。白いのは何本咲いてゐますか。
3. 菜の花が13本咲いてゐます。昨日は7本しか咲いてゐませんでした。今日何本咲いたのでせう。
4. 兵士が竝んでゐます。こちらには50人向ふには70人ゐます、どちらが何人多いのですか。

第十時

- (1)教材 前時に同じ。
- (2)準備 練習。
- (3)教順

第一段 練習表。

第二段 本時配當教材。

第三段

(一) <sup>(算)</sup>		(二) <sup>(算)</sup>		(三) <sup>(算)</sup>	
$9 \times 2$	$18 = 9 \times \triangle$	$4 + 5$	$1 + 12$	$7 - 7$	$19 - 18$
$50 \times 2$	$20 = 10 \times \triangle$	$40 + 60$	$4 + 30$	$70 - 70$	$83 - 80$
$20 \times 4$	$10 \div 2$	$12 + 7$	$6 + 7$	$11 - 1$	$14 - 5$

(教・六十四頁)

三月中旬

$30 \times 3$   $6 + 2$        $30 + 4$   $13 = 7 + \triangle$   $81 - 1$

第四段

1. お宮の屋根に鳩がとまつてゐます。先程向ふから7羽とんできました。それが一所になつて16羽ゐます。前からゐたのは何羽でせう。
2. 鳩が8羽ゐる處へ10羽とんできました。皆で何羽になりましたか。
3. 20羽ゐた鳩が5羽とんで行きました。何羽残つてゐますか。
4. 鳩が前の屋根には15羽、後の屋根には8羽とまつてゐます。どちらの屋根に何羽多くとまつてゐますか。

第十一時

- (1)教材 六十五頁。倍すること。
- (2)準備 問題を小塗板に板書したもの。
- (3)教順

第一段

累加累減

口問口答

$1 + 1, 2 + 2 \dots 9 + 9, 1 + 1 + 1 \dots 3 + 3 + 3, 1 + 1 + 1 + 1$   
 $\dots 2 + 2 + 2 + 2, 10 + 10 \dots 50 + 50, 20 + 20 + 20 \dots 30 +$

(教・六十五頁)



三月中旬

30+30, 10+10+10+10……20+20+20+20, 2-1, 4-2, ……18-9, 20-10, 40-20……100-50,

第二段

倍すること

1, 2……9×2, 1, 2×4 10, 20, 30×3

1, 2, 3×3 10, 20……50×2 10, 20×4

以上の順序を交錯して口問口答及び板書筆答。

第三段

混交練習

(一) <sup>(A)</sup>		(二) <sup>(B)</sup>		(三) <sup>(C)</sup>	
3+3	2+16	6-5	17-15	8×2	8÷2
30+40	5+20	60-50	92-90	3×3	4÷2
13+3	6+6	20-5	13-11	24=7×△	2÷1
20+5	12=6+△	75-70	16-7	40=20×△	

第四段

- 1, 子供が戦争遊びをしてゐます。一列に9人宛二列に並んでゐます。子供は何人ゐますか。
- 2, 一方の組は3人宛三所に分れました。其組の人数は何人でせう。
- 3, 女の子が蓄のついた桃の小枝をもつてきました。それをお連れの子供4人に2本宛分けてやりま

(教・六十五頁)

三月中旬

したら皆なくなりました。この子は初め幾枝持つて来たのですか。

4, 三つの箱に小石が30宛入れてあります。小石は皆で幾つですか。

5, 半紙1帖は20枚です。半紙四帖は何枚ですか。

(4)注意

五十六頁を参照して、問ひ方等も一方のみに偏せぬがよい。

第十二時

(1)教材 六十五頁。幾倍なるかを求むること、等分すること。

(2)準備

(3)教順

第一段

累加累減乗法

累加累減は前時間に同じ。

乗法は口問口答を主として、二三筆答させる。

第二段

幾倍か 等分

(イ) 2=1×△……18=9×△,

20=10×△……100=50×△,

(教・六十五頁)



三  
月  
中  
旬

以上の順序を交錯して口問口答及び板書筆答。  
次に「3人の2ばいは6人は3人の何倍か」と問ひ  
て板書する。(3×2=6 6=3×2の關係復習)其他も  
同様に取扱ふ。

次に板書を指示して口答させる。主に幾倍なる  
かを求むる方を指示して、

(□) 2÷2……10÷2, 20÷2……100÷2

以上の順序を交錯して口問口答及び板書筆答。  
次に「4本の2ばいは8本を二つに分けると」と問  
ひて板書。4×2=8 8=4×2の關係復習。其他も  
同様に取扱ふ。

次に板書を指示して口答させる。主に等分の方  
を指示して。

**第三段**

(一) <sup>(*)</sup>		(二) <sup>(*)</sup>		(三) <sup>(*)</sup>	
5-3	17-15	7×2	6÷2	1+9	5+13
50-30	90-90	2×4	10÷2	10+7	7+40
14-3	13-11	10=5×△	8÷2	14+4	4+8
64-4	18-9	60=30×△		80+7	12=4+△

**第四段**

1. 6匹の蟲を雞に遣るのに3匹づゝ遣れば何羽に

(教・六十五頁)

三  
月  
中  
旬

遣れますか。

2. 10匹の蟲を5匹づゝやれば。16匹の蟲を8匹づゝやれば。
3. 女の子供が桃の小枝を12本持つてゐます。お連れの子供に6本づゝ分けて遣つたら何人に遣れますか。
4. 40人を二組に分ければ一組幾人になりますか。
5. 6錢で同じ筆を2本買ひました。1本幾錢づゝですか。
6. 桃60箇を二組で同じだけ運ぶには、一組何箇運べばよいですか。

(4)注意

1. 五十八五十九頁を参照したい。そして發問の如きも同頁下段に載せた種々な形を用ひて、一方にのみ偏することのない様にしたい。

**第十三時**

- (1)教材 六十五頁。
- (2)準備
- (3)教順

**第一段**

- (1)累加累減。

(教・六十五頁)



三月中旬

(ロ)倍すること。

(ハ)幾倍なるかを求むること。

(ニ)等分すること。

以上は主に口問口答による。

(ホ)次に各の場合を五六問宛摘出し相混交して板書課題筆答させる。

第二段

(一) <sup>(ロ)</sup>		(二) <sup>(ハ)</sup>		(三) <sup>(ホ)</sup>	
$6 \times 2$	$6 = 3 \times \triangle$	$3 + 4$	$7 + 14$	$4 - 3$	$13 - 13$
$2 \times 4$	$80 = 40 \times \triangle$	$30 + 30$	$7 + 60$	$40 - 40$	$56 - 50$
$2 \times 3$	$4 \div 2$	$16 + 3$	$2 + 9$	$18 - 4$	$13 - 7$
$20 \times 4$	$10 \div 2$	$60 + 7$	$11 = 2 + \triangle$	$58 - 8$	$15 - 8$

第三段

- 14俵のお米を一回に7俵宛運べば何回にはこべるか。  
8俵のお米を4俵宛運べば。
- 4俵の二倍は何俵か。  
三所にお米が三俵宛積んであります。皆で何俵ですか。
- 10俵のお米を二人で分けたら一人が何俵ですか。
- 2俵宛四所にお米がつんであります。皆で何俵

(教・六十五頁)

三月中旬

ですか。

5. 5俵の二倍は何程ですか。10俵のお米を同じ様に二人に分けたら一人が何俵ですか。10俵のお米は5俵づゝ何人に遣れますか。

6. 生徒が10人づゝ二列に並んでゐます。何人ゐますか。

20人の生徒を二組に分ければ一組何人になりますか。

10人で5人の組が幾組作れますか。

第十四時

- (1)教材 總練習。
- (2)準備 練習表。
- (3)教順

第一段

練習表

第二段

混交練習

(一)		(二)		(三)	
$8 + 2$	$4 - 3$	$50 \times 2$	$16 + 3$	$16 - 5$	$10 = 5 \times \triangle$
$20 + 80$	$40 - 30$	$5 \times 2$	$40 + 8$	$66 - 6$	$100 = 50 \times \triangle$
$2 + 4$	$3 - 3$	$6 \times 2$	$17 + 3$	$15 - 1$	$12 = 6 \times \triangle$

(總復習)



$$40+20 \quad 30-30 \quad 10 \times 3 \quad 30+3 \quad 35-5 \quad 80=40 \times \triangle$$

(四)		(五)		(六)	
$5+13$	$16-11$	$10 \div 2$	$5+8$	$15-8$	$18=9 \times \triangle$

$$8+40 \quad 88+80 \quad 4 \div 2 \quad 13=5+\triangle \quad 17-9 \quad 80=40 \times \triangle$$

$$6+11 \quad 15-15 \quad 2 \div 2 \quad 8+5 \quad 14-8 \quad 100 \div 2$$

$$3+30 \quad 93-3 \quad 8 \div 2 \quad 13=8+\triangle \quad 13-6 \quad 10 \div 2$$

**第三段**

- 鉢植の桃の花が咲きかけました。開いたのが八つ、咲きかけの蕾が七つあります。蕾が開いたら咲いた花が幾つになりますか。
- 今朝開いてゐた花の中で五つは萎んだが、まだ七つは咲いてゐる、今朝は幾つ咲いてゐたのでせう。
- こちらの木には花が十五開いてゐる、向ふの木には七つ開いてゐる、どちらの木がいくつ多いのですか。
- 紅い花と白い花とがあります。白いのは十六咲いてゐます。紅いのはそれよりも九つ少く咲いてゐます。紅いのは幾つでせう。
- 前の鉢の桃の花は九つ咲いてゐます。後の鉢のはそれよりも六つ多く咲いてゐます。後のはいくつ咲いてゐますか。

- 一本の木に十八咲いてゐます。其内紅いのが十あります。残りは白いのです。白は幾つですか。

**第十五時**

(1)教材 總練習。

(2)準備 考査用用紙、兒童數だけ。  
兒童用計數器。

(3)教順

次の如き問題を提出し必要なる數量は板書して示し、答を配布した用紙に書かせる。算式を書ける者には書かしめる。

- おだんごをお母さんがお作りになりました。佛様に9つおあげになりましたあとにまだ7つ残つてゐましに。皆で何個お作りになつたのですか。
- お米屋さんがお米を買ひに來ました。太郎さんのお家でお米を3俵、次郎さんのお家で4俵、花さんのお家で8俵買つて歸りました。お米屋さんは、皆で何俵買つて歸りましたか。
- 學校には(公園には)梅の木が澤山あります。東の庭に6本、西の園に2本、裏に6本あります。皆で何本ありますか。



4. バスケットボールをして遊びました。赤組は12個毬を入れ、白組は7個入れました。どちらがどれだけ勝ちましたか。
5. 太郎さんは帳面を買ふためにお母さんに15錢いたゞいて店へ行きました。ところがそのノートは18錢でありました。いくら足りませんでしたか。
6. 蜜柑が14ありました。兄弟三人で2つづゝとつて食べました。残りは何個ですか。
7. 5錢の白銅貨が2つと2錢の銅貨が3つとでいくらになりますか。
8. 紙を子供三人に分けてやりました。皆んな2枚づゝ持つてゐました。初め何枚あつたのですか。
9. 二つ合はせると5になります。其の二つの數を知つてゐるだけお書きなさい。
10. 80枚の繪端書を兄と弟と二人に同じやうに分けてやりました。一人何枚もらひましたか。
- 時間に餘裕あらば、加減練習表を板上に掲げてその練習を課する。

**(4) 注意**

本時の考査は主として事物問題の解題力に關して

のものである。尋常一年の事物問題解題力は主として作業的に具體的事物をあつかつて解く様に練習せられて居たのであるから、此の際も計數器等を使用することを許してよいと思ふ。

算式等を明確に書表すことは、あまり強く要求してはないのであるから、優等生が書き得たならば書かせる位の程度にして置いてよいと思ふ。

**第十六時**

(1) 教材 總復習。

(2) 準備 問題を謄寫版刷にした用紙、練習表。

(3) 教順

**第一段**

次の如く問題を謄寫した用紙を配布する。筆答。

(一)	(二)	(三)	(四)	(五)
$6+6=$	$9+5=$	$4+2=$	$1+3=$	$7+7=$
$4+2=$	$1+5=$	$3+8=$	$6+9=$	$3+2=$
$8+1=$	$9+9=$	$7+6=$	$2+5=$	$4+7=$
$8+9=$	$2+7=$	$4+6=$	$7+9=$	$3+5=$
$2+9=$	$5+8=$	$7+2=$	$8+3=$	$6+5=$
(六)	(七)	(八)	(九)	(十)







加減練習問題の表を掲げて計算の練習を課する。

### 第三段

前時間の考査の批評及び誤りの訂正。

#### (4) 注意

考査は一面には、児童の成績が何の程度まで發展してゐるかを知るの材料であると共に、他面には、これによつて児童の誤りが奈邊にあるかを察知して、次學年の復習の際の努力點を發見する様にしなくてはならぬ。

三  
月  
中  
旬

(總復習)

## 附 錄

### 尋常科第一學年算術科教授細目

第一學期 (約七十五時間)

月 (旬)	豫定 時數	教 授 事 項	備 考
四 月 (上旬)	四	算術教授の出發點調査 ○一つ二つ法の唱へ方數へ方(1) ○數詞と實體との聯結(1) ○實體數を數へ定むること及び 指定數を取出さしむること(1) ○數詞を中途より唱へしむること(1)	前項の成績如何によりては此が扱に斟酌を要す
	二	一つ二つ法の唱へ方及び數へ方 ○一つ二つ法の唱へ方數へ方(1) ○指定數を取出さしむること及び中途より唱へしむること(1)	
(中旬)	二	九以下の數に一を足すこと ○一、二、三、四、五に一を足すこと(1) ○六、七、八、九に一を足すこと(1)	
	二	五以下の數に二を足すこと	



		○一、二、三に二を足すこと(1)	
		○四、五に二を足すこと(1)	
	三	<b>五以下の數に三を足すこと</b>	
		○三、二、一、に三を足すこと(1)	
		○四、五に三を足すこと(1)	
		○同上復習(1)	
(下旬)	三	<b>五以下の數に四を足すこと</b>	
		○三、二、一に四を足すこと(1)	
		○四、五に四を足すこと(1)	
		○同上復習(1)	
	四	<b>五以下の數に五を足すこと</b>	既授事項を 取入れて扱 ふこと
		○三以下の數に五を足すこと(1)	
		○四、五に五を足すこと(1)	
		○五以下の各數に五を足すこと (1)	成績考査を 行ふ
		○五以下の數に五以下の各數を 足すこと(1)	
		<b>一二法の唱へ方數へ方</b>	
五月 (上旬)	二	○一より十に至る唱へ方數へ方 (1)	
		○一二法によりて既授事項を復	

		習すること(1)	
	五	<b>數字に依りて數を表すこと</b>	教科書の十 二頁より繰 上げて教授 す
		○數字の讀方及び數字を用ひて する計算(1)	
		○算式の讀方及び4までの書方 (1)	
		○同前及び7までの書方(1)	
		○同前及び9までの書方(1)	
		○10の書方及び簡易なる計算(1)	
(中旬)	六	<b>六以上の數に二、三、四を足すこと</b>	教科書の三 單元を合し て一單元と して扱ふ
		○6, 7, 8に2を足すこと(1)	
		○同上復習(1)	
		○6, 7に2を足すこと(1)	
		○同上復習(1)	
		○9に4を足すこと(1)	
		○以上復習(1)	
	十	<b>六、七、八、九を足すこと</b>	教科書の二 單元を合し て一單元と して扱ふ
		○6を足すこと(1)	
		○7を足すこと(1)	
		○以上復習(1)	
(下旬)		○8を足すこと	



		○ 9 を足すこと(1)	
		○ 8 及び 9 を足すこと(1)	
		○ 以上復習(1)	
		○ 6, 7, 8, 9 を足すこと(1)	
		○ 5 以下の各数を足すことの復習(1)	成績考査を行ふ
		○ 9 以下の各数を足すことの復習(1)	
月 六	一	二数の大小を比較すること(1)	何れが幾つ小なるかも扱ふ
(上旬)	三	1 及び 2 を引くこと	二單元を一纏に扱ふ
		○ 10 以下の各数より 1 を引くこと(1)	
		○ 10 以下の各数より 2 を引くこと(1)	
(中旬)		○ 以上復習(1)	
	三	3 を引くこと	
		○ 5, 4, 6 より 3 を引くこと(1)	
		○ 10, 9, 8, 7 より 3 を引くこと(1)	
		○ 以上復習(1)	
	四	4 を引くこと	
		○ 5, 6, 7 より 4 を引くこと(1)	

		○ 10, 9, 8 より 4 を引くこと(1)	
		○ 同上復習(1)	
		○ 以上復習(1)	成績考査を行ふ
	二	零その書方	
		○ 零の意義及び唱へ方書方(1)	教科書の二十頁より繰上げて扱ふ
(下旬)		○ 結果が零となる引算及び引き得ぬ場合の引算(1)	
	四	.5 を引くこと	
		○ 6, 7, 8 より 5 を引くこと(1)	
		○ 10, 9 より 5 を引くこと(1)	
		○ 減数 5 以下の場合復習(1)	
		○ 既授の加減應用練習(1)	
七 月	三	6 を引くこと	
(上旬)		○ 7, 8 より 6 を引くこと(1)	
		○ 9, 10 より 6 を引くこと(1)	
		○ 以上復習(1)	
	八	7, 8, 9 を引くこと	これも一單元に纏めて扱ふ
		○ 7 を引くこと(1)	
		○ 同上復習(1)	
(中旬)		○ 8 を引くこと(1)	
		○ 同上復習(1)	



(下旬)	一	○ 9 を引くこと(1) ○ 同上復習(1) ○ 7, 8, 9 を引くこと(1) ○ 9 以下の各数を引くこと(1)	成績考査を行ふ
	三	一より十までの数を表す漢字(1) 復習 その一 ○ 10 以下の加減法總復習(1) ○ 9 以下の減法總復習(1) ○ 總復習(1)	省くも可なり 成績考査を行ふ

第二學期 (約七十五時間)

月(旬)	豫定時數	教授事項	備考
九月(上旬)	五	前學期分重要教材の復習 ○ 10 以下の数の唱へ方及び書方並びに 2, 3 を足すこと。引くこと(1) ○ 4, 5, 6 を足すこと。引くこと(1) ○ 7, 8, 9 を足すこと。引くこと(1) ○ 6, 7, 8 に対する 1, 2, 3, 4, 5, 6,	教科書36頁の注意参照

(中旬)	三	7 等の補数を求むること(1) ○ 9, 10 に対する 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9 等の補数を求むること(1) 11 より 19 までの数の唱へ方及び書方 ○ 11 より 19 までの順計逆計(1) ○ 11 より 19 までの数は 10 と 10 未満の端数とより成れること及び記数法(1) ○ 同上練習(1)	教科書26頁及30頁の教材を統合して授くるを適當と認む
	五	11 以上の数に 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8 を足して 19 以下の数となる寄算 ○ 1, 2 を足すこと(1) ○ 3 を足すこと(1) ○ 4, 5 を足すこと(1) ○ 6, 7, 8 を足すこと(1) ○ 10 以上の数に基数を足して 19 以下の数となる場合の計算總練習(1)	教科書の二單元を合し一單元として取扱ふ
(下旬)	三	8 以下の数に 11 以上の数を足して 19 以下の数となる寄算	



		○ 11, 12, 13を足すこと(1)	
		○ 14, 15を足すこと(1)	
		○ 16, 17, 18を足すこと(1)	
	三	二数(11以上の二数。11以上の数と10以下の数)の大小を比較すること	
		○ 共に11以上の数にしてその差1, 2, 3なる二数の大小を比較すること(1)	
		○ 共に11以上の数にしてその差6, 7, 8なる二数の大小を比較すること(1)	
		○ 共に11以上の数にしてその差6, 7, 8なる二数の大小を比較すること。及び11以上の数と10以下の数との大小を比較すること(1)	
十月 (上旬)	四	12以上19までの数より1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8を引きて11以上の数の残る引算	教科書の二 単元を合し 一単元とし て取扱ふ
		○ 1, 2, 3を引くこと(1)	

		○ 4, 5を引くこと(1)	
		○ 6, 7, 8を引くこと(1)	
	二	10以下の二数の差を求むること	
		○ 1, 2, 3, 4と10以下の各数との差を求むること(1)	
		○ 5, 6, 7, 8, 9と11以下の各数との差を求むること(1)	
(中旬)	十四	基数に基数を足して11以上の数となる寄算	教科書 四 単元を合し 一単元とし て取扱ふ
		○ 基数に2, 3を足して11以上となる寄算(1)	
		○ 同上練習(1)	
		○ 基数に4を足して11以上となる寄算(1)	
		○ 基数に5を足して11以上となる計算の練習(1)	
		○ 基数に6, 7を足して11以上となる寄算(1)	
		○ 基数に6, 7を足して11以上となる寄算(1)	
		○ 基数に6, 7を足す計算の練習	



(下旬)	<p>練習(1)</p> <p>○ 基数に 8, 9 を足して 11 以上となる寄算(1)</p> <p>○ 同上(1)</p> <p>○ 同上(1)</p> <p>○ 同上(1)</p> <p>○ 基数に基数を足す計算の総練習(1)</p> <p>○ 同上(1)</p> <p>○ 同上(1)</p>	
十一月十四 (上旬)	<p>11 以上の数より基数を引きて基数の残る引算</p> <p>○ 2, 3 を引きて基数の残る引算(1)</p> <p>○ 同上練習及び既授復習(1)</p> <p>○ 4 を引きて基数の残る引算(1)</p> <p>○ 5 を引きて基数の残る引算(1)</p> <p>○ 4, 5 を引きて基数の残る引算練習及び既授復習(1)</p> <p>○ 6 を引きて基数の残る引算(1)</p> <p>○ 7 を引きて基数の残る引算(1)</p>	教科書の四 単元を合し 一単元とし て取扱ふ

(中旬)	<p>○ 6, 7 を引きて基数の残る引算練習(1)</p> <p>○ 同上及び既授復習(1)</p> <p>○ 8 を引きて基数の残る引算(1)</p> <p>○ 9 を引きて基数の残る引算(1)</p> <p>○ 8, 9 を引きて基数の残る引算練習(1)</p> <p>○ 11 以上の数より基数を引きて基数の残る引算総練習(1)</p> <p>○ 同上(1)</p>	
(下旬) 三	<p>19 以下の数より 11 以上の数を引くこと</p> <p>○ 11, 12, 13 を引くこと(1)</p> <p>○ 14, 15, 16 を引くこと(1)</p> <p>○ 17, 18 を引くこと及び既授練習(1)</p> <p>三 20 の唱方、書方及び之に関する計算</p> <p>○ 20 の唱方、書方及び 20 の分解結合(1)</p> <p>○ 20 に関する計算(1)</p>	



十二月十六  
(上旬)

- 總練習(1)
- 復習 其二
- 10以上の數に10以下の數を足すこと(1)
- 10以下の數に10以上の數を足すこと(1)
- 基數に基數を足して11以上となる寄算(1)
- 11以上の數より10以下の數を引きて10以上の數の殘る引算(1)
- 11以上の數より10以上の數を引くこと(1)
- 11以上の數より基數を引きて基數の殘る計算(1)
- 11以上の數を二つの基數に分解すること(1)
- (中旬)
- 基數に基數を足して11以上となる寄算(1)
- 11以上の數より基數を引きて基數の殘る引算(1)

(下旬)

- 基數を足してその和が20以下なる總ての場合の寄算 其一(1)
- 同上 其二(1)
- 同數累加(1)
- 20以下の數より基數を引く總ての場合の引算 其一(1)
- 同上 其二(1)
- 同數累減(1)
- 基數に基數を足して11以上となる寄算及び11以上の數より基數を引きて基數の殘る引算(1)

以下の復習  
教材は教科  
書には書き  
も附加する  
を適當と認  
む

第三學期 (約五十時間)

月 (旬)	豫定 時數	教 授 事 項	備 考
一 月 (中旬)	四	前學期及び前々學期分重要教材の復習 ○ 主として10以下の加減につきて(1) ○ 主として基數に基數を足して	



	<p>11以上の数となる寄算につきて(1)</p> <p>○主として11以上の数より基数を引きて基数の残る引算(1)</p> <p>○加減混合練習(1)</p>	
八	<p><b>100までの数の唱方書方</b></p> <p>○10, 20, 30,……100等10の系統を辿りて100までの唱方(1)</p> <p>○21, 22,……99等10の集りと未満の端数との複合関係(1)</p> <p>○百までの数の順計と逆計(1)</p> <p>○10, 20, 30,……100までの書方(1)</p> <p>○以上の練習(1)</p> <p>○21, 22,……99までの書方(1)</p> <p>○唱方及び書方練習(1)</p> <p>○同前(1)</p>	<p>此唱方及び書方は統合して授くるを適當と認む</p>
三	<p><b>数を順に又は逆に数ふること</b></p> <p>○数を順に数ふること(1)</p> <p>○数を逆に数ふること(1)</p> <p>○数を順に数ふること及び逆に数ふることの復習(1)</p>	<p>逆計は左邊必要なし</p>
(下旬)		

二月 (上旬)	<p>四 <b>簡易なる計算</b></p> <p>○<math>10+20, 100-20</math>等10の集りにつきての計算(1)</p> <p>○<math>100=10+\triangle</math>等10の集りにつきての計算(1)</p> <p>○<math>1+10, 11-10</math>等10の集りと10未満の端数とに關する計算(1)</p> <p>○以上の復習(1)</p>	<p>教科書五四頁の注意参照</p>
(中旬)	<p>六 <b>倍すること</b></p> <p>○同数累加復習(1)</p> <p>○1より9までの数の2倍(1)</p> <p>○10, 20,……50までの数の2倍(1)</p> <p>○1より3までの数の3倍, 2の4倍(1)</p> <p>○10, 20, 30の3倍, 10, 20の4倍(1)</p> <p>○復習(1)</p>	<p>理解を容易ならしむる爲めに直觀的取扱を交ふ</p>
三	<p>三 <b>幾倍なるかを求むること</b></p> <p>○2は1の幾倍かより18は9の幾倍かまで(1)</p> <p>○20は10の幾倍かより、100は50の幾倍かまで(1)</p>	



(下旬)	三	○以上の練習 等分すること ○2, 4, …… 10 を 2 等分すること (1) ○20, 40, ……100 を 2 等分すること (1) ○以上の練習(1)
	二	乗除の復習 ○乗除の復習(1) ○同前(1)
	一七	本学年の總復習 ○基数に基数を足すもの(1) ○二位數に基数を足すもの(1) ○基数より基数を引くもの(1) ○二位數より基数を引くもの(1) ○基数に二位數を足すもの(1) ○二位數より二位數を引くもの ○(1) ○百までの數を漢字にて表はす ことの教授及び唱方(1) ○同前(1)
三月 (上旬)		

教科書六〇  
頁の注意參  
照

(中旬)		○何十に何十を足す計算(1) ○何十より何十を引く計算(1) ○倍すること(1) ○幾倍なるかを求むること(1) ○等分すること(1) ○總練習(1) ○同前(1) ○同前(1) ○同前(1)
------	--	--

をはり



大正十四年六月十五日印刷

大正十四年六月二十日發行

尋常小學新算術  
取扱の實際  
第一學年

著作  
權  
所有

定價  
金二圓二十錢

著 作 者 山 本 孫 一

著 作 者 中 野 恭 一

發 行 兼 者 目 黑 甚 七

東京市京橋區南傳馬町二丁目五番地

印 刷 所 青 文 舍 印 刷 所

東京市京橋區木挽町二丁目十三番地

發 行 所

東京市京橋區南傳馬町二丁目五番地 振替口座東京二八〇九番

新潟縣長岡市表四ノ町(本店) 振替口座東京三六一九番

新潟市古町七番町(支店) 振替口座長野四〇九〇番

目 黑 書 店



263  
106

終